

令和4年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (県央地区：大村市) 概要

- 1 日 時 令和4年9月13日(火) 13:30~16:30
- 2 会 場 大村市コミュニティセンター 第3・4会議室
- 3 参加者 計54名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「佐世保市小佐々地区 海光る町学園の実例」
佐世保市地域学校協働活動推進員
小佐々地区地域学校協働本部 野間 健司 氏

中学校区における学校運営協議会・地域学校協働本部で運営している小佐々地区における「立ち上げからこれまでの取組」、「地域コーディネーターの関わり」、「成果と課題」等について、具体的な活動を示しながら詳しくお話いただきました。

参加者からは、「実践発表での具体的な実践がこれから進めていく上で参考になりました。地域学校協働本部の強力なリーダー性が発揮されていることが分かる内容でした。」「小佐々地区の子ども、保護者、学校、地域すべてがHappyになることができる取組はすばらしかったです。地域コーディネーターの重要性がよく分かりました。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで、地域関係者と学校関係者がグループ協議により地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「人を知ること、つながりを増やすことが大切だと改めて気づけた研修でした。自校でも話合いの場や出会いの場を設け、地域とのつながりも含めて関係を深めていきたいと思います。」「参加者と情報共有して、視点が広がったことがよかったです。また、既存の組織を見直して、組織づくりに生かしていきたいと思いました。」などの感想が寄せられました。

